学校だより

《学校教育目標》（知）主体的に学ぶ生徒
（徳）正しく判断できる生徒
（体）心身を鍛える生徒

＜No. 6＞ 令和8年9月25日

さいたま市立白幡中学校

〒336-0022　さいたま市南区白幡2-18-13
電話 048－861－3203（学校）
866－5789（さわやか相談室）

https://shirahata-j.saitama-city.ed.jp

打って反省、打たれて感謝

校長　小倉　弘一

世界には「打って反省、打たれて感謝」という言葉があります。これは、相手を打てた（「一本」を取れた）ときは慢心(まんしん)することなく自分の技を省(かえり)みて更に改善する機会とし、打たれたときは相手から学ぶ機会を得たと捉えて感謝するという、剣道を修練・修養する際の心構えを示す言葉です。



3年生の家庭科「赤ちゃん・幼児ふれあい体験」

社会生活に置き換えると、よい結果が得られたときも、そうでないときも、自分を成長させる糧(かて)にする姿勢こそが望ましいという、戒(いまし)めを唱(とな)えているのです。こうした謙虚で前向きでひたむきな価値観は、我が国ならではの美徳であり、古(いにしえ)から日本人の生活の様々な場面に根付いています。

さて、9/26(土)～10/2(金)まで、多くの競技でさいたま市新人体育大会が行われます。また、10/16(金)には2学期中間テストが、10/20(火)には市駅伝競走大会が、そして10/27(火)には合唱祭が控えています。各自が様々なステージで勝負をするときが近づいています。

ぜひ、日頃の努力の成果を遺憾なく発揮し、'勝利の栄光'をもぎ取ってください。そして勝利を勝ち取った暁(あかつき)には、奢(おご)ることなく、周囲の人々や環境に感謝し、更に努力を続けましょう。

しかし万が一、満足できる結果に結びつかなかったとき、その現実を受け入れることは心に苦痛を伴います。その痛みは本気で取り組んだ証(あかし)です。'勝利'することは何よりですが、謙虚に向き合った'敗北'にも価値は生まれます。100%を出し切る努力できる人ならば、どんな結果でもきっと成長の糧にできることでしょう。

「失敗に前向きなんだ。本気でやった場合に限るよ。本気の失敗には価値がある。」
（マンガ「宇宙兄弟（講談社）」より 主人公の南波六太のセリフ）

本校学校ホームページの「今週の1枚」コーナーにて、本校生徒の学校教育活動の様子を写真入りで紹介しています。おおむね一週間に一回程度のペースで更新しています。是非ご覧ください。※ユーザー名とパスワードは、スクリレでお知らせします。